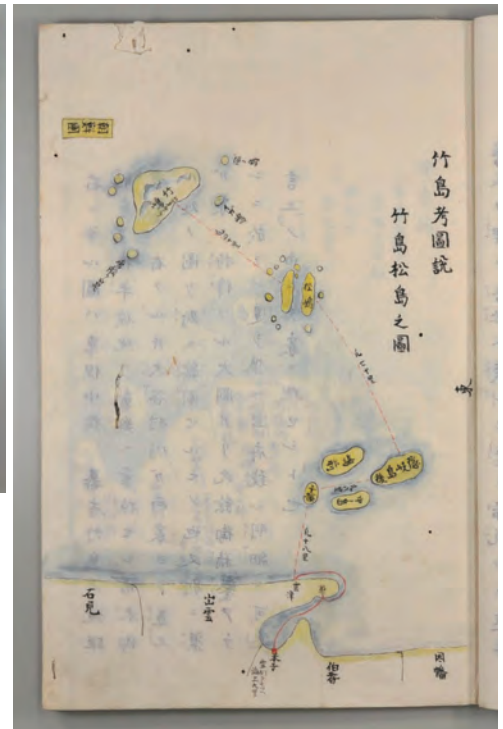


時代区分Ⅰ (1)-②渡航の具体内容を示す資料

## 鬱陵島・竹島への渡航について後年まとめた書

## No.4 竹島考

新規掲載 1828年(文政11年)



所蔵: 鳥取県立博物館

## 資料概要

鳥取藩で要職にあった岡嶋正義という武士が、大谷・村川両家の事業について後年に編纂した書。渡航の経緯、鬱陵島、竹島の地理やアシカなどの産物について記している。上巻に鬱陵島への渡航ルートの絵図が含まれ、鬱陵島と竹島についての地理について説明する記述が含まれている。

なお、本書中に「竹島」とあるのは鬱陵島、「松島」とあるのは竹島のこと。

## 内容見本

毎年二三月ノ比船ヲ整ヒ米子ヲ発船シ隠岐國二船ヲ繫留四月月上旬ノ比較順風便潮ヲ俟テ帆ヲ開キ先松島ト云小嶼二船ヲ寄テ漁獵ヲ始メ其レヨリ竹島へ渡海シテ復ノ間所務ヲ成シ秋ニ逾テ舩舶スル

## 現代語訳

毎年二、三月頃米子を出て、隠岐国に船を繫留し四月の上旬に出発した。まず松島(現在の竹島)という小島に寄って漁獵を始め、それから竹島(鬱陵島)に渡海して漁獵を行い、秋に帰帆した。

作成年月日	1828年(文政11年)
編著者	岡嶋正義
発行者	-
収録誌	-
言語	日本語
媒体種別	紙
公開有無	有
所蔵機関	鳥取県立博物館
利用方法	鳥取県立博物館で利用手続きを行う(岡嶋家資料)